

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成27年8月28日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。



とこで寝て、とこで働く？

－夜間人口と昼間人口－



今回は、平成22年国勢調査の結果から、熊本県に移住する人がどんな人が調べてみました。今回も国勢調査から市町村に焦点をあてて「**夜間人口**」と「**昼間人口**」を見てみたいと思います。「**夜間人口**」とは、常住している住居等（**寝る場所**）でカウントされ、普通に「人口」という場合はこれを指しています。「**昼間人口**」は、通勤・通学により昼間活動している場所（**働く場所**）でカウントされるものです。

各市町村(15歳以上)の人口

市町村名	夜間人口	昼間人口	小国町	4,178	4,051
熊本市	378,649	401,061	産山村	937	858
八代市	65,778	65,997	高森町	3,442	3,225
人吉市	17,906	20,507	西原村	3,820	4,085
荒尾市	25,495	19,014	南阿蘇村	6,676	5,982
水俣市	12,558	13,591	御船町	9,339	7,300
玉名市	36,049	33,990	嘉島町	4,513	5,878
山鹿市	29,092	27,254	益城町	16,577	14,255
菊池市	26,758	27,715	甲佐町	5,979	5,198
宇土市	19,290	15,004	山都町	9,489	9,261
上天草市	13,928	12,881	氷川町	6,644	4,531
宇城市	32,152	31,039	芦北町	9,114	8,064
阿蘇市	15,078	15,405	津奈木町	2,413	1,543
天草市	42,034	41,861	錦町	5,990	6,299
合志市	28,130	22,303	多良木町	5,591	5,597
美里町	5,568	4,205	湯前町	2,307	1,774
玉東町	2,983	1,906	水上村	1,218	1,008
南関町	5,566	5,561	相良村	2,613	2,184
長洲町	8,169	8,722	五木村	570	698
和水町	5,833	5,569	山江村	1,975	1,113
大津町	16,435	20,756	球磨村	1,954	1,201
菊陽町	19,596	17,027	あさぎり町	8,801	8,070
南小国町	2,634	2,589	苓北町	4,049	4,194

長く続いた昔の農耕社会では、「**働く場所**」と「**寝る場所**」は近接していましたので昼夜の人口差など問題になりませんでした。でも、産業等が発達した現代では、生活が広域化し、地域の役割分担（工業地帯、ベッドタウンなど）が進んでいます。そのため、市町村間で人の移動があり、昼夜の人口差で市町村間の結びつきが分かります。さあ、調べてみましょう。

左表は、市町村別の15歳以上の「**夜間人口**」と「**昼間人口**」を示しています（「15歳以上」としたのは、市町村間の移動が、より鮮明になると思われるからです）。

昼間人口は「働く場所」の人数ですから、生産力に比例して多くなると言ってもいいでしょう。つまり、稼げる地域ということです。ですので、**夜間人口**より**昼間人口**が多い市町村は、経済面で「**人口増加の余地がある**」と考えてもいいかもしれません。

逆に、**夜間人口**が**昼間人口**より多い市町村はどうかというと、他の市町村からいわ

ば「**外貨を稼いでいる**」ということにもなります。モノは考えようですね！

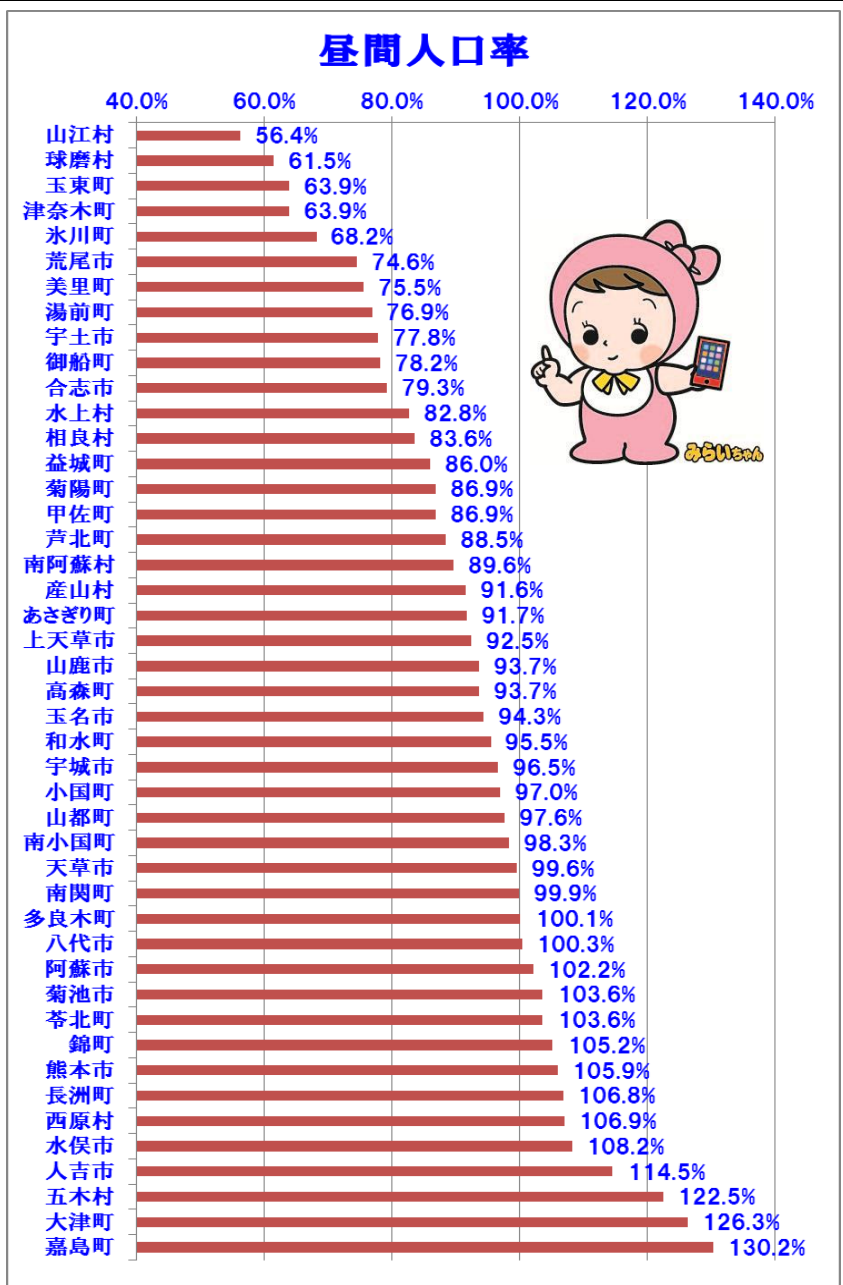
表に戻りますが、県内各圏域の中心となる市をみると、**昼間人口**より**夜間人口**の方が多いい市が結構ありますね。経済面での求心力が低下しているのでしょうか？ここで、「**昼間人口**÷**夜間人口**」を「**昼間人口率**」として、「**昼間人口率**」の小さい順にグラフにしてみましょう。

ちょっと見にくいですが**1位は山江村**、**2位は球磨村**、**3位は玉東町**です。昼間人口率の多い順で行くと、**1位は嘉島町**、**2位は大津町**、**3位は五木村**になっています。なかなか興味深いですね～。

ここで、**山江村**について、村外へ通勤・通学している1,200人はどこに行っているのか見てみると、**人吉市752人**、**錦町164人**で併せて76%です。逆に村へ通勤している人は全部で319人で、**人吉市184人**、**錦町37人**の順位です。

次に**嘉島町**を見てみましょう。町外から4,281人の通勤がありますが、うち**熊本市2,394人**、**御船町464人**、**益城町294人**、**宇城市246人**、**甲佐町235人**で、この5市町で85%を占めています。逆に町外への通勤・通学者は2,931人で、うち**熊本市2,054人**、**御船町231人**、**益城町112人**となっており、偶然かもしれませんが流入・流出(?)の市町村順位が同じですね！

各市町村で細かく見ていくと相互依存関係が分かりそうですね。他にも、居住期間が分かれますので、時系列でみていくと生活圏の変化も分かりそうです。やっぱり「恐るべし国勢調査！」ですね。ということで再び・・・**今年は5年に1回の国勢調査**です。



スマート 国勢調査

インターネット回答
9月10～20日

ネット回答すると
調査票回答は不要

調査票(紙)の回答
10月1～7日

国勢調査は、日本国内に住むすべての人と世帯を対象とした調査です。今回は、**インターネットの回答ができる**ようになりました。(もちろん、**スマホ・タブレットもOK**です。)

熊本県の統計情報は
[「http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297」](http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297)をご覧ください。
 次回の「統計アラカルト」は、9月25日(金曜日)に掲載予定です。
 問合せ先: 熊本県企画振興部統計調査課交通政策・情報局 総務資料班 〒869-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1
 電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp